

背景：キャッシュレスが増え、おつり・両替・予算といったことをイメージできない子が増えた。

1 お金の流れを知る



お金はどんな時に使うのか。社会の中でどのようにお金が使われていて、お家の人がどうやって稼いできているのか、お店の人たちがどのように稼いでいるのか、など大まかな流れを学ぶ。

✔ pptは、なるべく文字が少ないものを用意。画面の切替時間など子どもを飽きさせない工夫がある。対話を盛り込んだ進行なので、参加者の学年に応じて、深度や内容を変更できます。学年混合も対応可。

2 クラフト「小銭入れ」



この後の買い物チャレンジで使う小銭入れを制作。自作の小銭入れがこの後のプログラムを盛り上げる。

✔ 手を動かす時間をとることで、集中力が続く。

3 ビジネス体験「ガーランド作り」



1枚3円の折り紙を使って、みんなでガーランドを作り、フリマサイトに出品する。売り物になるということを意識して、また、原価がかかることも分かって、自然と慎重な作業になっていく。

✔ すぐに結果は出ないが、実際に出品することで、利益分配方法まで自然と子どもの興味が行く。「歩合制」「時給制」など

4 買い物チャレンジ



本物のお金を使って、買い物ゲームにチャレンジ。店員役の子どもたちは「おつり」の計算に大忙し。大忙しの中で、子どもたちは充実感のある顔つきになっていく。同じ店舗で働くメンバー同士、助け合う姿が見られた。

✔ 値札を見て、なるべく予算ぴったりになるように4つの店舗を回り計4品を購入する。

5 世界のお金クイズ大会



海外で活躍しているゲスト先生をお招きして、外国のお金を使ったクイズ大会(この回では、オールイングリッシュ)。馴染みのない国のお金を手にとり、その国についてクイズを通して知っていくことは、子どもたちにとってとても刺激的。

✔ オールイングリッシュだが、三択クイズなので皆が参加可能。世界の国々の実物のお金を手に取ることができる。

△
4時間
▽